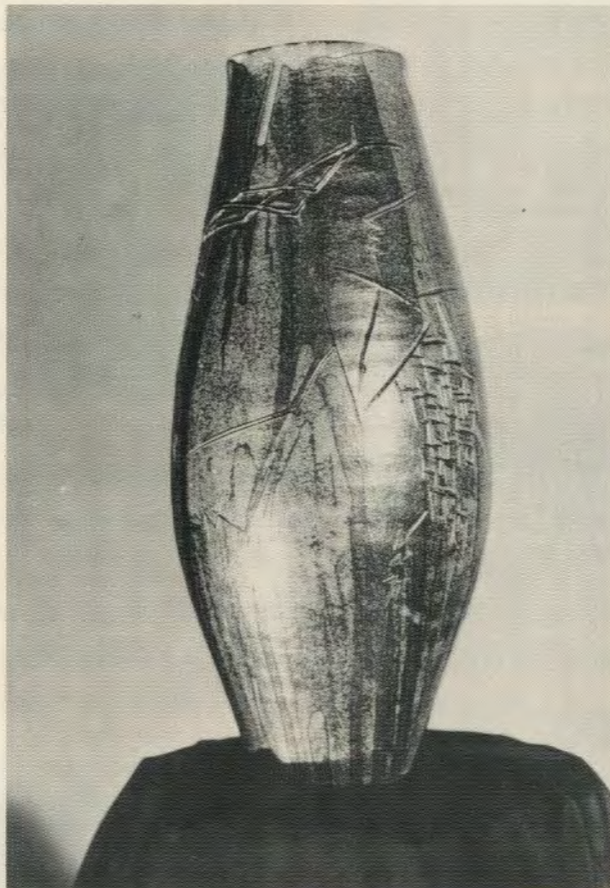


光市医師会報

昭和54年6月発行

No. 82



亀田 仡先生作

光 市 医 師 会

医師会月間行事

※6月12日(火) 午後7・30

定例理事会

○協議事項

1. 学校救急医療研修会について
 - (イ)主催 光市医師会 共催 光市教育委員会
 - (ロ)日時・場所 昭和54年6月21日
 休13・30より16・30
 於 光市役所大会議室
 - い対象者 各学校保健主任及び養護教諭 受講者 約70名
 - (ニ)内容 救急処置法の理論と実技指導
 人工呼吸法、心臓マッサージ
 - ホ指導者 大野、福本、富恵、亀田、渡辺、高橋諸先生
2. 各郡市医師会事務研修会について
 6月21日(休) 於県医師会
 出席人員の選定 三谷氏出張決定
3. 6月度例会の議題および研究会
 - (イ)研究会
 演題 急な心筋硬塞、狭心症、不整脈の送院までの対処
 講師 板垣省三市立病院副院長
 - (ロ)例会議題
4. 次回実施の参考のため第1回検討会について
 反響 反省事項 交通費負担の内容の分析
5. 7月8月の行事計画
 - (イ)7月納涼懇親会
 - (ロ)各種健診(老人、成人病 etc) に対

す する検討事項

6. その他
 - (イ)医師会旅行について
 - (ロ)医事紛争最近の状況
 - い)4半期毎に予算執行状況報告

○連絡報告事項

1. 呼吸器疾患調査に関する事項
2. 労働保険事務の手続き等についての講習会
3. 保険研修会 6月23日(出)
4. 学術担当理事協議会報告
5. 県医師会よりの文書連絡
 - (イ)医師賠償責任保険(安田火災)加入のすすめ
 - (ロ)医師年金制度行推進と今後の普及運動に伴う委託会社の地区割
 光市医師会担当会社 住友生命。
 - い)医師年金制度の改正(後日通知)
 - (ニ)昭和54年度毒物劇物危害防止運動の実施
 - ホ)金利の変更
 - ヘ)旧医フィルムライブラリー目録

※6月10日 午後2・00

光市医師会と光市立病院との親睦野球大会 於武田球場

医師会	1103000	5
市立病院	510614A	17A



ボールはネットの中に?

出場メンバー

医師会		市立病院
富恵・高橋・守友	(投)	五嶋(内) 塚原(小)
亀田	(補)	河村(事)
大野・松村	(一)	板垣(内)
竹中	(二)	杉田(整)
守友	(三)	内田(小)
田村	(遊)	浅海(内)
河村	(左)	野並(外)
高橋	(中)	河村(放)
梅田	(右)	塚原・五嶋



奮闘のあと

市立病院は若さと長打で圧勝す。板垣先生は内野安打で10割出塁。医師会投手陣マントウールは良いのだが球威不足か？2～3回で降板。内野の守備が乱れ大量得点を許す、練習不足か、足腰の弱りか。その中で大野一塁手の球に食いついていくファイットに拍手。

好天に恵まれ実に楽しい親睦野球でした。又こりずに次回を楽しみにしています。

球場・審判・飲物の好意的な提供を下さいました武田薬品の皆様と平岡先生に心から感謝致します。

※6月21日(木) 午後1・30

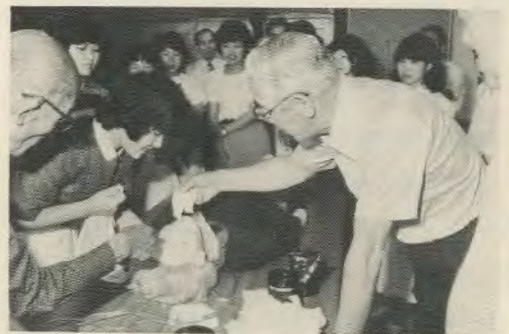
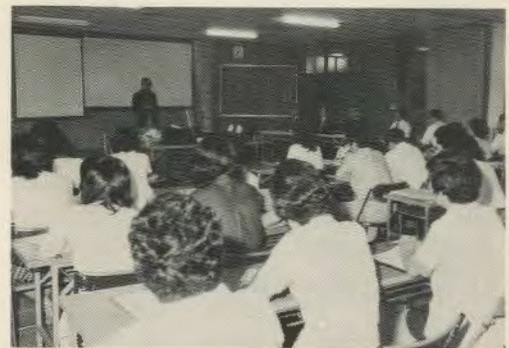
救急処置法の理論ならびに実技研修会

場所 光市役所大会議室

出席者 市内各小中学校 幼稚園等関係職員57名

指導者 大野・福本・富恵・亀田・渡辺 渡辺貞・高橋の諸先生

富恵先生により気道確保の理論と方法、人工呼吸等説明の後、出席者一人一人に人形を用いて実技の指導が行なわれた。



※6月23日(土) 午後7・00

保険診療研修会(光市・下松市医師会合同)

場所 下松市市民館

講師 神徳専務理事 堤常任理事

光市医師会よりは14名出席、保険診療上の問題に就いて解説と質疑応答が行なわれた。

※6月26日(火) 午後7・30

6月度例会並びに学術研究会

○報告連絡事項

1. 医師年金制度の改正について
2. 昭和54年度毒物劇物危害防止運動の実施について
3. 金利の変更について
4. 会員の異物
5. 支払基金並びに国保連合会の審査委員について
6. 学術担当理事協議会報告(板垣)
7. 各種臨床生化学検査依頼の現況(福本)
8. 納涼懇親会、旅行、運動会等の実施に対する意見について(高橋)
9. 雇用保険の事務について(松村)
10. 保険研修会の質疑について(松村)
11. 医師賠償責任保険(安田)加入のすすめについて

○講演

演題 心筋硬塞、狭心症、不整脈の送院まで対処

講師 光市立病院副院長 板垣省三先生
各疾患の症状により、オピオイド、キシロカイン、アトロピン、ラナトサイドCの使用法についてのべ、アモサリン、ギルリトマル等の使用は十分に注意するべく、又心発作で虚脱状態の者は予後が悪く、明

瞭に心臓部の異常を訴える者の予後は良い等臨床上重要な点を丁寧に説明していただいた。

故 林 考之先生叙勲

前会長 林孝之先に勲五等瑞宝章従六位の伝達式が、6月30日山口県庁に於いて行なわれました。

会員異動紹介

光市立病院の内科の西村秀男先生と小児科の塚原正人先生が退会され山口大学に帰られました。小児科の内田正志先生とを御紹介いたします。浅海信正先生も今月付で入会されましたが、原稿の都合で次号に紹介させていただきます。

内田正志先生

現住所 光市虹ヶ浜東町7-2

TEL 72-1436

生年月日 昭和27年4月24日

出身校 大分東高等学校

山口大学医学部昭和52年卒業

略歴 山大小児科教室から下関国立病院勤務の後光市立病院小児科へ

専門 アレルギー、感染症、新生児に興味を持っています。

趣味 一応スポーツならなんでもやります。光にきて硬式テニスを始めました。

家族 独身、4人兄弟の末子、男ばかりの中で育つたので気は荒いかと思います。きわおっとりしており、特に女性には親切!

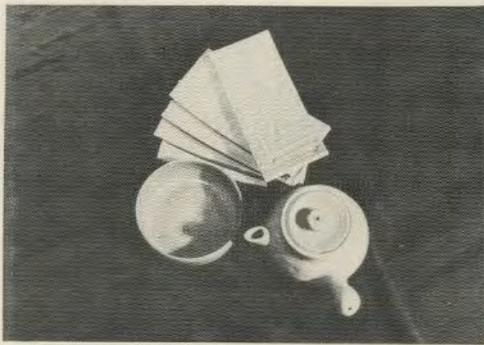
何か医師会に対して一言お願い致しましたら、「まだ着任したばかりでよく判り

ませんが、卒直に意見交換の出来る関係になりたいと思います。特に小児科は勝負がはやいので！」同感です。どうか宜しくお願いします。

〔My Hobby〕

つぼ作り

亀田 侑



あれこれと手を出しても、これはという特別の趣味を持たぬ私にとって、「ご趣味は？」と聞かれるほど困ることはありません。その時々に応じて適当に答えている次です。運動は卓球、軟式テニス、医局に入ってから野球、バレーボール、光に来てからゴルフと、何れも我流で、対外的に通用するしろものではありません。

習い事もう年生れのせいにして居りますが兎の「ふん」の如くぼりぼりととぎれがち長続きしたものなし、広島に居た時は師匠について華道二年、茶道一年半、但しもっばら客の方にまわり、一度も茶は点てた事なし、光市民病院に来て謡曲を一年半、その後は全く継続の意志なく、もっばらプラモデル製作、ラジコン機、ラジコンボート製作、木製帆船製作、つぼ作りと夜

陰に乗じては何かを作って居ります。その製作中が、何もかも忘れ私には楽しい一刻ではないかと思つて居ります。つぼ作りは昭和46年より約三年間、現在鹿児島大学美術の方に転任された厚東先生に毎週手を取つて教えて載きました。何とか型になりはじめた時、先生の転任と光ゴルフ場隅にあった窯も移転してしまい現在は中止の状態です。

今光市には光井公民館とスポーツ公園に窯がありますが、個人では自由に使用するわけには参りません。つぼ作りは土ねりから火入れ、窯出しまで自分でやらねば本当の面白味はありません。その内小さな窯でも庭の一隅に作りこれだけは続けてみたいと思つて居ります。そして、人に聞かれた時は躊躇することなく趣味は陶芸ですとこたえられる様になりたいと思つて居ります。

〔お暇な時にどうぞ〕

私からおすすめるもの〕

山小屋のおむすび

伊垣 省三

趣味について何か書けとのこと故、ペンをとったが、毎年趣味変更というか、全く固定したものをもたないのがあるいは趣味と表現するべきなのかも知れない。それはわが成長の軌跡をふりかえて見たときにもうかがわれる。小学生のころ、家の近くをよく廻つて来たナベ底の修ぜん屋（宇部の方ではイカケ屋といつていた）にあこがれ、中学生のとき、船にのりたくて門司の海員

養成所の願書をとりよせたり、高校に入ってから商船大学、獣医、建築とくるくる志望が変わり、ルーレットの回りが医者のところとどまったのか、今、自分はこんな商売をしているのだと自覚する。よかったのか悪かったのか。

クラシック、浪花節、野球にテニスにゴルフ（永久にハンディー36のため、これもやめた）。

カメラに8ミリ、旅行にストリップ…。

よくもまあとあきれれる。そんな中で不思議とつづいて来たものが一つある。山行きである。あえて登山といたくない。山を見に行くだけだから。

雨の石づち山の鎖場で立往生したとき、はっきりと高所恐怖症であることをさとした。18年まえのことである。それ以来、ほとんど毎年、夏になると、どっかの山に行った。しかし頂上を征服したのは大山、乗鞍岳、九住山ぐらいである。つまり子供でものぼれる山である。したがって登山パーティーと同行したことはない。何故なら足手まといになるし、バカにされるからである。いつも単独行である。さい近は家族と行く。一昨年は立山、剣、昨年は尾瀬、谷川岳、それに白馬、今夏は西穂高をへて上高地えおる。こういえば一寸かっこよく

きこえるが、何のことはない、頂上を征服するのではなく、きわめてあぶなくないところをとって山を見上げるだけである。しかし毎年夏になるとうずうずしてくる。本屋に行って、山の写真集があれば、すぐ買いこむ、もう7~80冊にはなっだろう。山の地図をみて“この先、ガレ場要注意”とかいてある字をみたゞけでふるえあがる。この実感は私独得のものであろう。しかし、山小屋のむすびはうまい。

あとがき

毎日うとうとしい雨がいつまで続くのだろうかといささか気分が沈み勝ちなところですが、医師会の行事は天候とは反対に数多く御覧の通り賑やかです。バテないで永續きするように皆様の協力と御指導をお願い致します。

亀田先生の陶器の噂はたかかったのですが、いただきました写真は他にも素人ばなれした素晴らしい作品がなん枚もございました。早く窯をきずいて再開をお願いしたいと思えます。

そしてあわよくば一コ位いただけないものかなあと淡い期待をいただいています。

伊 藤

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	大野宗二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社